



## 国連大学サステナビリティ高等研究所

### 神田女学園高等学校「地球市民」

平成31年1月、国連大学サステナビリティ高等研究所にて「高校生SDGsセミナー」が開催され、神田女学園高等学校の12名の高校生が参加しました。講師の増田大美氏からSDGsに関する世界、国内の動向について研修を受け、その後にグループワークを行いました。参加した神田女学園の高校生は、すでにSDGsを学び、自主的に活動もしています。今回のセミナーは、SDGsについてさらに深く学ぶ機会になったことと思います。



2015年にニューヨークの国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」



講師

国連大学サステナビリティ高等研究所  
プログラムコーディネーター  
増田 大美 様

### グローバル

持続可能な開発のための2030アジェンダ及び持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月に国連サミットにて採択されました。世界的には、SDGs実施をレビューする場として持続可能な開発に関する国連ハイレベル政治フォーラム(HLPF, High-level Political Forum)があり、2013年より国連経済社会理事会のもと毎年1回開催されています。加えて4年に1回は国連総会のもと各国首脳級の会合が開催されます。2019年は2015年にSDGsが採択されてから初めての国連総会における総括的レビューの場となります。

### アジア太平洋地域

リージョナルレベルでは国連の国連経済社会理事会の地域委員会が締約国のSDGs実施をサポートするよう推奨されています。アジア太平洋地域では、国連アジア太平洋経済社会委員会が主に地域レベルでのロードマップ作成や加盟国のSDGs実施支援、能力開発を実施しています。2018年3月には国連大学と協働でSDGs実施のパートナーシップ実現に向けたガイドラインを作成しました。

### 国家(日本)

世界各国はSDGs実施に向けた体制を整え、国家計画や予算へのSDGs主流化を進めています。日本でも総理が本部長、全閣僚が構成員となる持続可能な開発目標(SDGs)推進本部を設置し、2016年12月にSDGs実施指針を策定、またSDGsアクションプランを策定しています。また第5次環境基本計画にSDGsが位置づけられるなど、SDGs主流化に向けた展開がなされています。

### 地方

世界全体ではSDGsのローカライゼーション(地域毎の状況に合わせたSDGs実施)が数多くの都市で進んでいます。日本では2018年に29の地方自治体がSDGs未来都市として選定されました。SDGs未来都市の中には、地域計画の強化や多彩なステークホルダーとの連携体制を模索する新たなガバナンス構築の流れが出てきています。

### 様々なステークホルダー

SDGs実施には、国だけではなく民間企業、研究機関・大学、市民団体など多様なステークホルダーの取り組みが重要です。ESG金融(環境・社会・コーポレートガバナンスに考慮した金融)の広がり等、SDGsに取り組むことが経営戦略として重視されつつあります。